

鈴木 文子

(公明党)

◆ #8000とは…
 小児救急電話相談のことです。
 小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談が出来るものです。

■マタニティマークと #8000の普及促進

Q 内閣府の世論調査で、子育て支援策としてのマタニティマークと #8000の認知度が低かったが、さらなる普及促進について伺う。

A マタニティマークは広報紙掲載や高齢者の集う施設でのポスター掲示などで周知を図り、妊産婦に活用してもらうよう普及していく。また、#8000は健診などの場やホームページ、フェイスブックなどで普及促進を図る。

■公共施設と防犯灯の LED化の推進

Q 省エネ対策、CO₂ 排出量削減、コスト削減の観点から、リース方式による防犯灯の LED化を推進すべきと考えるがどうか。

A 長期的な視野から経済面、環境面を考慮すると、防犯灯の LED化は非常にメリットが大きい。平成27年度予算に市内全域の防犯灯の蛍光灯・水銀灯を LED化するための経費を計上するよう準備を進めていく。

大房 正治

(緑水会)

【他の質問事項】

中学校における夢ワーク三島の現状



三嶋大社駐車場

■観光バス駐車場の確保

Q 平成27年末の箱根西麓・三島大吊橋の完成を控え、観光客の利便性、回遊性向上を図るため、バス駐車場確保への支援を伺う。

A 現在、三島市観光協会で実施しているバス駐車料金補助制度などソフト面での拡充を図っていきたいと考えている。平成27年12月の箱根西麓・三島大吊橋完成を見据え、観光協会への観光バスの駐車料金補助の増額を検討したい。

■東部地域スポーツ産業振興協議会

Q 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会事務局の移管を踏まえて、三島市スポーツ・文化コミッションとの連携について伺う。

A 今の時代では、行政区域に固執しては地域活性化を図ることは不可能である。市独自のコミッション機能が協議会の広域連携の取り組みと相乗効果を発揮し、参加市町のパイロット的役割を果たすべく、努力していく。

古長谷 稔

(フォーラム三島)



楽寿園

■楽寿園の価値を最大限生かすための活用方法

Q 日本で唯一、溶岩の上に造られた日本庭園としての楽寿園の価値を専門家に評価してもらい、今後生かしてはどうか。

A 小浜池周辺の溶岩を含む天然記念物および名勝指定区域は、保全エリアとして、庭園の専門家に実際に見ていただき、その価値を評価してもらう。それを基に保全の必要性を見極め、有効活用と情報発信を検討していく。

Q 園内を保全エリアと活用エリアとに分けて、入場料に差をつけるなどメリハリの効いた管理運営方法に変えてはどうか。

A エリア分け、入園料金を変えることについては、現状の楽寿園の利活用方法に照らし、楽寿園運営委員会や市民の方と検討していきたい。まずは、年間パスポートの導入と大学生までの入園無料の取り組みから行っていきたい。

松田 吉嗣

(緑水会)



豊臣秀吉掟書 (市指定文化財)

■指定文化財の保護・管理

Q 市指定文化財が市内に46件あるが、その所在や修繕が必要かどうかなど、定期的に調査・確認しているのか伺う。

A 市指定の文化財のうち、市所有分は随時確認を行っており、個人所有分は不定期の見学などで所在を確認してきたが、修繕が必要かどうかまでは正確に把握できていない。今後もその所在については的確に確認を行っていききたい。

■箱根の里の運営

Q 開所から四半世紀が経つが、利用者数が伸びず、利用者一人当たりの経費も同様の施設と比べ突出している。今後の取り組みを伺う。

A 青少年が宿泊する設備を有し、貴重な体験を提供する施設であると考えている。箱根西麓の特性を生かし、プログラムの工夫やPRに努めるとともに、利用者の安全と利便性の向上を図り、魅力ある施設づくりを進めていきたい。

金子 正毅

(日本共産党議員団)



山中城売店

■山中城を核にした地域活性化対策

Q 大吊橋の完成が近づいているが、山中城を核とした地域活性化対策として、大型駐車場へ売店・案内所を移転してはどうか。

A 大吊橋が完成した際には山中城とのコラボレーションを図り、回遊を楽しんでもらう。今後国の補助事業などを活用し、大型駐車場に売店、案内所、トイレを整備し、三島の特産品などの買い物ができるよう検討していく。

■深刻化する子どもの貧困と就学援助

Q 子どもの貧困が深刻化する中で、生活が苦しい家庭を支援する就学援助の役割は大きい。必要な方への受給率向上対策を伺う。

A 就学援助制度についてさらにわかりやすく広報することや、民生委員の調査がなくても就学援助の可否が判断できる場合は省略するなどの見直しを検討する。

中村 仁

(緑水会)

【他の質問事項】

□三島市の下水道事業の将来像



廃品回収業者

■不用品などの回収業者の違法な操業とその対応

Q 市内で軽トラックにスピーカーを付け巡回している業者は無許可であるとのことだが、これらに対する対応を問う。

A 市の許可業者が軽トラックに拡声器を付けて回収することはない。無許可で違法な回収業者に対しては、直接指導だけでなく、県や警察と連携して立ち入り調査を行っている。また、市民への注意喚起の啓発も強化していく。

■都市計画道路の整備と地域の発展

Q 長く未着工の計画が、地域の発展に悪影響を与えているとのことだが、今後も長く未着工になると思われる計画への対応を伺う。

A 都市計画法第53条・54条の建築制限に係る許可基準の緩和について、他市の事例を研究・検討する。また、国道・県道の早期整備と、街路事業に係る国の交付金の獲得に向けて、国・県などへの働きかけをより一層強めていきたい。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。